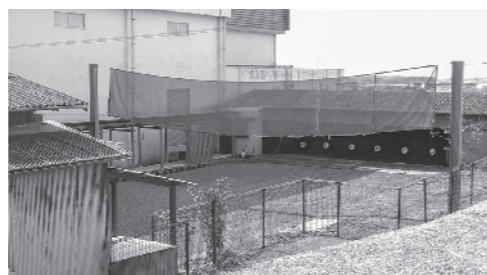


## 加盟館紹介

## 新富町

## 主要事業：座論梅弓道大会

新富町は、宮崎県のほぼ中央部の沿岸地帯にあり、北西部の高台一帯には古墳が散在し、その名も新田原古墳群と称しています。中央部高台地帯には航空自衛隊新田原基地があり、国土防衛の役割を果たしています。新富町弓道場は、町体育館の隣に位置し、近的6人立ちの射場と的場があります。町弓道連盟に管理委託しており、中学校や町内外の弓道愛好者が練習や、イベント等を開催し利用しています。



## 三股町

## 主要事業：各競技団体主催大会及び町民スポーツ祭

三股町武道体育館は、昭和52年に完成しており、令和3年度には空調設備を設置しています。

館内はバレーボールコート2面分の広さがあり、利用者は武道団体以外にも、球技や体操などの各種競技団体も利用し、子どもから大人まで幅広い世代で活動が行われています。中でも町民スポーツ祭では、メイン会場として使用し、総合開会式や各種目大会が執り行われています。



## 諸塚村

諸塚村は宮崎県の北部に位置する村域の95%を山林が占める山村で、地形は急峻で谷が深く、総戸数約700戸の家々は3～10戸の小規模な集落で村内一円に分散居住しています。(日向市から約50km、延岡市から約60km)

諸塚村総合運動公園内にある本体育館では、毎年2月中旬に恒例の諸塚村剣道祭にも利用されており、村内の小・中・高校生から大人まで参加しています。また、本体育館では、年間を通し、剣道の練成会をはじめ、練習等にも広く利用されています。



# 武道みやざき

## 第35号

発行 令和4年3月  
発行所 宮崎県公立武道館協議会  
〒889-2151  
宮崎市大字熊野2206-1  
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会内  
TEL 0985-58-5151  
FAX 0985-58-3213  
発行人 佐藤彦空  
(宮崎県公立武道館協議会会長)

## あいさつ

宮崎県公立武道館協議会 会長 佐藤彦空



「武道みやざき」第35号の発刊にあたり、一言御挨拶申し上げます。

コロナ禍も今年で3年目を迎えることになりました。令和3年度は、7月・8月に待ちに待った東京オリンピック並びにパラリンピックが大成功し、国民に大きな感動を与えました。更に令和4年2月・3月には北京冬季オリンピック並びにパラリンピックが開催され、過去最多のメダルラッシュに湧きました。

また、政治や経済においても、劇的な変動の年であったにもかかわらず、そのすべての出来事が、コロナウイルス変異株の出現により、すべてを洗い流されているような錯覚に陥ります。一日も早くコロナウイルスとの共存共生が成立することを祈るかぎりです。

さて、本協議会の主要事業である地方青少年武道錬成大会は、共催の(公財)日本武道館と中央競技団体のご支援をいただき、コロナ禍でありながらも盛大に催すことができました。昨年7月に空手道が、12月には銃剣道が実施され、中央より斯道の第一人者を講師にお迎えし、宮崎国体に向けての県内青少年の競技力向上に大いに貢献する素晴らしい内容であったことをご報告申し上げます。

終わりに、本協議会の運営にあたり、ご支援を賜りました宮崎県教育委員会並びに関係諸団体に対し、深甚なる謝意を表し、挨拶いたします。

合掌

## 武道と弓道

宮崎県弓道連盟 会長 重信和行



武道の定義は、「武道は、武士道の伝統に由来する日本で体系化された武術の修練による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、人間形成の道であり、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の総称を言う。」と定められています。

弓道には、次のような先覚者の遺訓があります。

「射は進退周還必ず礼に中り、内志正しく、外体直くして、然る後に弓矢を持つこと審固なり。弓矢を持つこと審固にして、然る後に以って中ると言うべし。これ以って徳行を觀るべし。射は仁の道なり。射は正しきを己に求む。己正しくして而して後発す。発して中らざる時は、則ち己に勝つ者を怨みず。反ってこれを己に求むるのみ。」

射行は心志の安定、身体の安定、弓技の審固が大事で、これを修練することにより仁義礼智信の徳行が体得される。矢を發して中らなければ他を怨むようなことなく、反ってこれを己に求めて反省せよ、と教示しています。

弓道は儒教を基礎とした道徳の修養道であり、弓道の最高目標である真善美の顕現にあります。

弓道は、一射ごとに真実の追及であり、教養・反省・平和・平等というような倫理性的の追求であり、究極的には「真なるもの」は美しく、「善なるもの」も美しいことにつながるのです。

これらは全ての武道に通ずるもので、武道を志す者は永遠に求め続け、また、後世に伝える責務があると思います。

宮崎県公立武道館協議会ははじめ関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻に感謝しつつ、更なる発展をご祈念申し上げ結びの言葉いたします。



# 令和3年度 宮崎県公立武道館協議会事業報告

## 1 目的

宮崎県における公立武道館を総括する代表団体として、県内公立武道館の連絡調整並びに地域社会における武道の普及振興と青少年の健全な育成に努め、本県のスポーツの発展に寄与する。

## 2 武道館振興に関する事業

本会組織の拡充及び本県武道の振興

- (1) 本会事務局及び加盟武道館の組織の強化
- (2) 各武道館に対する助言や館同士の連絡調整、各館活動の円滑な運営
- (3) 武道の普及推進に資するための、全国都道府県立武道館協議会が進める事業の運営及び協力

## 3 武道振興に関する事業

県内の各地域社会における武道振興を図るための事業を実施

- (1) 令和3年度宮崎県(宮崎市)地域社会武道指導者研修会(少林寺拳法)の開催
- (2) 令和3年度宮崎県(宮崎市)地方青少年武道錬成大会(空手道・なぎなた)の開催
- (3) 令和3年度宮崎県(都城市)地方青少年武道錬成大会(銃剣道)の開催
- (4) 第33回宮崎県武道振興演武大会等の後援

## 4 広報活動事業

広報誌「武道みやざき」(第35号)の発行

## 5 実施事業等

	期 日	開催事業名	開催地及び参加人数等	主 な 内 容 等
1 加盟武道館の連絡協議会	4月28日(水)	全国都道府県立武道館協議会 理事会	書面決議により実施	・ 令和2年度事業報告 ・ 令和2年度収支決算 ・ 横浜武道館の新規加盟について ・ 令和3年度事業計画書案 ・ 令和3年度収支予算書案 ・ 令和4年度主要事業 ・ 役員交代
	5月25日(火)	宮崎県公立武道館協議会 理事会・総会	書面決議により実施	・ 令和2年度事業報告 ・ 令和2年度収支決算及び監査報告 ・ 役員改選(案) ・ 令和3年度事業計画(案) ・ 令和3年度収支予算(案)
2 者の育成 要な武道指導	9月18日(土) ～19日(日)	共催事業 宮崎県(宮崎市)地域社会武道指導者 研修会(少林寺拳法)	中止	地域社会における武道指導者の資質の向上を図るため、武道競技に関する専門的な知識や技術の研修を行うとともに、競技の普及と競技力の向上に資する。
3 青少年の健全育成及び武道の普及振興	5月30日(日)	後援事業 ・「神武の里総合武道大会」	中止	剣道、柔道、弓道の錬成大会
	7月23日(金)	後援事業 ・「宮日杯宮崎県小・中・高校剣道選手権大会」	日南市 【日南市総合運動公園 多目的体育館】 (選手・役員・審判) 675名	小学校5・6年生から高校3年生までの学年別・男女部門別における個人戦 (※5月8日(土)にひなた武道館で開催予定の本大会を、日程・会場変更して開催)
	7月31日(土) ～8月1日(日)	共催事業 宮崎県(宮崎市)地方青少年武道錬成大会(空手道)	宮崎市 【ひなた武道館】 (参加者) 98名	武道の錬成を通して心身の鍛錬と技術の向上を図り、あわせて青少年の健全育成に寄与するとともに、武道の普及と競技力の向上に資する。
	11月29日(日)	後援事業 「2021宮崎県武道祭 第33回宮崎県武道振興演武大会」	宮崎市 【ひなた武道館】 (参加者) 約1,000名	各武道連盟の演武、錬成大会 弓道、柔道、少林寺拳法 銃剣道、剣道、古武道 なぎなた、相撲、空手道
	12月4日(土) ～5日(日)	共催事業 宮崎県(都城市)地方青少年武道錬成大会(銃剣道)	都城市 【早水公園体育文化センター 武道場】 (参加者) 32名	武道の錬成を通して心身の鍛錬と技術の向上を図り、あわせて青少年の健全育成に寄与するとともに、武道の普及と競技力の向上に資する。
	令和4年 1月22日(土) ～23日(日)	共催事業 宮崎県(宮崎市)地方青少年武道錬成大会(なぎなた)	中止	武道の錬成を通して心身の鍛錬と技術の向上を図り、あわせて青少年の健全育成に寄与するとともに、武道の普及と競技力の向上に資する。
4 の発行		「武道みやざき第35号」の発行	200部	・ 宮崎県公立武道館協議会事業報告等 ・ 県内加盟団体紹介

# 共催事業

## 令和3年度 宮崎県(宮崎市)地方青少年空手道錬成大会

- 開催期間 令和3年7月31日(土)・8月1日(日)
- 開催場所 ひなた武道館(主道場)
- 講師名 〈派遣講師〉小松 幸司(範士八段) 佐藤 重徳(範士八段)  
沖野 義次(教士七段)  
〈地元講師〉深水 憲一(教士七段) 藤枝 孝明(教士七段)
- 参加者数 98名
- 研修内容及び日程 【7月31日(土)】 【8月1日(日)】
 

9:30～10:00	開会行事	9:30～12:00	講義・実技Ⅳ
10:00～12:00	講義・実技Ⅰ	12:00～13:00	昼食・休憩
12:00～13:00	昼食・休憩	13:00～15:00	講義・実技Ⅴ
13:00～15:00	講義・実技Ⅱ	15:00～15:30	質疑
15:00～17:00	講義・実技Ⅲ	15:30～16:00	閉会行事



## 令和3年度 宮崎県(都城市)地方青少年銃剣道錬成大会

- 開催期間 令和3年12月4日(土)・5日(日)
- 開催場所 早水公園体育文化センター(武道場)
- 講師名 〈派遣講師〉上村 正(範士九段) 松本栄一郎(範士八段)  
〈地元講師〉吉本 正人(教士八段) 前村 雄次(教士七段)
- 参加者数 32名
- 研修内容及び日程 【12月4日(土)】 【12月5日(日)】
 

10:00～10:20	開会行事	9:30～12:00	講義・実技Ⅲ
10:20～12:00	講義・実技Ⅰ	12:00～13:00	昼食・休憩
12:00～13:00	昼食・休憩	13:00～15:40	講義・実技Ⅳ
13:00～15:40	講義・実技Ⅱ	15:40～15:50	質疑
15:40～15:50	質疑	15:50～16:00	閉会行事
15:50～16:00	諸連絡		



※令和3年度宮崎県(宮崎市)地域社会少林寺拳法指導者研修会、及び令和3年度宮崎県(宮崎市)地方青少年なぎなた錬成大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

# 武道継承の明かりを灯し続ける

宮崎県武道協議会 事務局長 河野和久

日本全国をコロナ感染の猛威が振るう中、令和3年5月の武道協議会実行委員会において慎重に協議を重ねた結果、令和3年度は武道振興演武大会を開催する方向で準備を進める事とし、10月の実行委員会において県内のコロナ感染状況を考慮し、感染予防対策を徹底する事で大会開催の最終判断をしました。

11月28日、県内の9武道団体が一堂に会し、ひなた武道館において2年ぶりに第33回宮崎県武道振興演武大会が開催されました。開会式では主催者である宮崎県武道協議会の佐藤彦空会長と共催者である宮崎県教育委員会の中原光晴副教育長が挨拶されました。次に宮崎県の武道の普及、振興に貢献された剣道連盟の野村憲一様、柔道連盟の高橋義照様、空手道連盟の関師幸一様に対して武道功労賞が授与されました。

特別演武では剣道連盟の佐伯浩美教士八段と谷川幸二教士八段による「日本剣道形」、銃剣道連盟の園田浩臣教士七段と加藤久幸錬士六段による「短剣道の形」が披露されました。

各武道団体の演武は弓道連盟の「巻藁射礼」から始まり、最後は少林寺拳法連盟の「単独演武・組演武・団体演武」で終了しました。コロナの影響で活動自粛期間等があり、集合稽古ができず、各団体とも苦労されたようですが、工夫を凝らした演武を披露していただきました。

今年度は武道演武大会を宮崎県教育委員会をはじめ、関係各位のご支援を賜り、なんとか無事開催することができました。心より感謝致します。

宮崎県武道協議会は今後も「武道文化継承の明かりを灯し続ける」という強い意思を持って活動していきます。

